



## 新しい宜野湾市の推奨特産品です!

1月7日(水)、平成26年度宜野湾市特産品推奨認定証交付式が市役所にて行われました。原材料にチマギーや島どうふ、大山産の田芋を活用するなど、素材や製造方法にこだわった商品となっています。

今年度は、リリーフーズ「チュラコラ(コラーゲンゼリー)」、あかゆら「かんさんの島どうふチップス」、琉球インタラクティブ(株)「田芋シュークリーム」が推奨特産品として認定されました。

【宜野湾市特産品推奨認定制度】市と市商工会との連携事業で、本市の特産品の認識・奨励を推進し、製造業の生産技術と生産意欲の向上ならびに販路拡大を図り、本市産業の振興を目的としています。認定基準は本市をPRできる製品等で、登録期間は5年となります。



## 市立博物館 開館15周年記念 博物館市民講座「山田真山ーその人物と作品ー」

12月21日(日)、市立博物館開館15周年を記念し、博物館市民講座「山田真山ーその人物と作品ー」を普天間小学校にて開催しました。講師の小林純子県立芸術大学教授により、山田真山画伯の作品を通じて、その人物像と日本・沖縄の近代美術史における功績について解説がありました。山田真山画伯のアトリ工見学では、沖縄平和祈念像の原型に多くの参加者が見入っていました。



防災行政無線放送が屋外放送後24時間以内において確認できます。☎ 896-2401



大謝名団地自治会長の泉川智枝子と書記の大城周子です。県営団地は、各地域の皆さんが集まっています。先輩方がとても元気で、子ども達と一緒に毎日楽しく過ごしています。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。お待ちしています。

**自治会めぐり**  
**アマハイクマハイ 22**  
大謝名団地自治会  
☎897-3010

## 子どもエイサーー道じゅねー



恒例の旧盆道じゅねーは、3歳から高校生までの子どもたちがリリしい姿で区民を楽しませてくれます。

## 敬老会



芸達者な区民が、舞台演舞で敬老会を盛り上げ、老若男女で楽しんでいます。

## 子育てサロン「ひよっこ」



「ひよっこ」は毎月第2金曜日午前10時から行っています。「ネイル体験」や仮装で参加する「ハロウィンパーティー」が大人気です。一度遊びに来てください。

## 小地域ふれあい事業



年末のクリスマス会を兼ねて、お正月の「しめ縄づくり」を行い、新しい年を迎えます。

# こみゆにてい 見聞録

地域のいろいろな話題を紹介します。

## 普天間中学校がフードドライブへ協力



12月25日(木)、普天間中学校から市社会福祉協議会(普天間朝光会長)へ食料を支援するフードドライブへの贈呈式が行われました。

給食委員が中心になり、保護者が学校を訪れる三者面談の機会を利用するなどして食料を集めました。市内で生活に困っている方々の支援に活用されます。

## JICAボランティアとして海外へ



12月25日(木)、国際協力機構(JICA)のボランティアとしてジンバブエに派遣されることになった大城博さんが、松川副市長を訪れました。

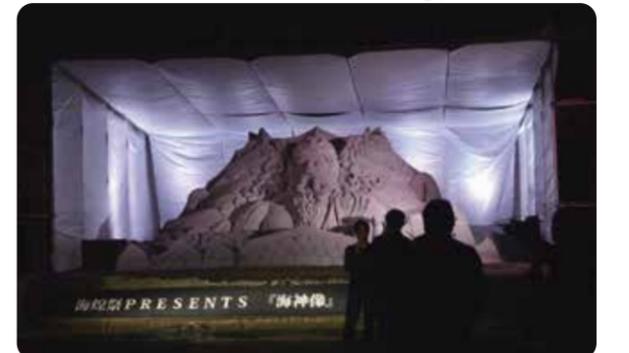
現地では、小学校教員養成学校でコンピュータのインストラクターを務めるという大城さんは、「外の世界を見るとともに、自分の力で他の人の役に立つことができれば」と話しました。

## 浦添宜野湾電気工事業協同組合が寄付金



1月14日(水)、浦添宜野湾電気工事業協同組合(山城克己理事長)が実施したチャリティーゴルフコンペの収益から寄付金が贈呈されました。平成18年度より継続した取組みとなっています。山城理事長は「地元への愛着もあり継続している。公共の福祉に役立ててもらいたい」と話しました。今年度は保育所のエイサー道具購入などに活用されます。

## サンドアートが創り出す幻想的な空間



12月20日(土)、「海煌祭」(同実行委員会主催)が宜野湾海浜公園小スポーツ広場にて開催されました。全長約9m、高さ6mにも及ぶ、海の神「ポセイドン」をイメージした巨大なサンドアート(砂と水で作る彫刻)が披露され、訪れた多くの観客は幻想的な空間を楽しみました。

## 花火とクリスマスソングの コラボレーション!



12月20日(土)、「第1回クリスマス音楽花火フェスティバルin沖縄」(琉球海炎祭実行委員会主催)が宜野湾トロピカルビーチにて開催されました。

本イベントは、沖縄県全体の課題でもある冬場(オフシーズン)における新たな観光誘客コンテンツとして企画されました。冬空の下、クリスマスソングなど季節の音楽と鮮やかにデザインされた約10,000発の花火のコラボレーションが繰り広げられ、これまでになく新しいクリスマスイベントとして、訪れたたくさんの観客を沸かせました。